





日四月六年五十正大

## ペスカの

## 今昔物語

(三) 松本高信

棉が賣れなければ金がない、金がなければアンゾウも糸も買へぬといぢらしい小公子の喜ぶこと、蓋し棉が二十ミルに賣れた以上だ。

「ほらアンゾウ」と俺はすぐ結論へ到着して紙包を渡すと、まあいぢらしい小公子の喜ぶこと、蓋し棉が二十ミルに賣れた以上だ。

「ヨシ、今日は父さんもペスカに行くぞ」

「父さんもペスカに?」

牛にひかれて善光寺詣りだ、日曜にも休まなかつた親爺が心氣一轉、子供達の喜ぶこと、女房も老母も棉の値が安いとも云はずに

「よかつたね……父さんが連れ行くとさ」と子供等を見てゐる。

ベンガラを二本切つて、メリケン粉を固くこねて、これで用意が出来た。

悟と二人でボカリと釣針を投げこむ、五つの長男がソツと、親爺の手並如何にとばかりに後ろからぞきこむ。

釣針のない糸を垂れた大公望は天下をつるんだとねかしたそなだく、五つの長男がソツと、親爺の手並如何にとばかりに後ろからぞきこむ。

貧しい父は子供等の喜びをつたために、糸を垂れるんだと思つてゐる。ピクリと俺の糸が動く、二寸ばかりのランバリーがひらりと空中に舞る。

「釣れた」

「か、つた」

と子供は狂喜する。

額の少し禿げ上つた親爺の俺もつりこまれて、

「ほら、ほら!」

と竿をゆると銀鱗が三人の眼の前に光る、躍る。

「神よ!」

私達に極樂が来ました、有難う御座います、と感謝する。まつたく

何だか下手な野師の口上のようだが蓋し子を持つて知る親心、俺氣なく俺は共鳴してしまふ。

どうかして捕はつたランバリーが捕が俺の前につきだした、老母も健在だ。妹もすぐ隣りにゐるが四人との母となつてゐる。

「お父さんも食べな」といつて謂所の新婦は子供の草履まで作りうる婆さんになつてゐる。さて三度目のペスカの時は俺達はほどなんに縫つてゆくことならうか。(をはり)

## 破産(上)

梨羅

「Sさんの店はもういかん」「あと一ト月は保つまい」

人々の間に斯う喧され始めてから二ヶ月過ぎた。

しかしその、中流位ひな店構へ

の日本人雜貨店は、他目には變へ

となく商賣を續けて居た。

私がこの驛へ移つて來て家を借りたのも三ヶ月以前だつた。

商店の人があつたが銳い聲で叱りつけ

てゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「マイ——あつちへ行つとらん私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「おはいり、お茶をおあがりや

りたのも三ヶ月以前だつた。近くなので、あまり賣品の質も良くなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

子を産んで、内三人は死んだそ

だ。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「おはいり、お茶をおあがりや

りたのも三ヶ月以前だつた。近くなので、あまり賣品の質も良くなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

子を産んで、内三人は死んだそ

だ。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「おはいり、お茶をおあがりや

りたのも三ヶ月以前だつた。近くなので、あまり賣品の質も良くなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

子を産んで、内三人は死んだそ

だ。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「おはいり、お茶をおあがりや

りたのも三ヶ月以前だつた。近くなので、あまり賣品の質も良くなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

子を産んで、内三人は死んだそ

だ。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「おはいり、お茶をおあがりや

りたのも三ヶ月以前だつた。近くなので、あまり賣品の質も良くなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

子を産んで、内三人は死んだそ

だ。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「おはいり、お茶をおあがりや

りたのも三ヶ月以前だつた。近くなので、あまり賣品の質も良くなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

子を産んで、内三人は死んだそ

だ。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「おはいり、お茶をおあがりや

りたのも三ヶ月以前だつた。近くなので、あまり賣品の質も良くなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

子を産んで、内三人は死んだそ

だ。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「おはいり、お茶をおあがりや

りたのも三ヶ月以前だつた。近くなので、あまり賣品の質も良くなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

子を産んで、内三人は死んだそ

だ。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「おはいり、お茶をおあがりや

りたのも三ヶ月以前だつた。近くなので、あまり賣品の質も良くなかつたがツイ足が向くの

私があつたが銳い聲で叱りつけた。或一人、十八九のやせぎしな若者たちはなかつたがツイ足が向くの

子を産んで、内三人は死んだそ

だ。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和しないので、妙に思つてゐるとゾロ／＼と二三人外人の女客が店へ來た。

丁度その時

「カ、早う……」私がこの驛へ移つて來て家を借りた。或一人の產れた時などは、カ

テ商店の人が客に對する愛想を云つてゐるのだと受取れたが、如何にもそれが、山奥の新聞地で今烟からあがつたやうな老女の風姿が四邊りと調和



## 電話が切れても

話の出来る電話

東京兵庫間を最初に

やがて全國鐵道で採用

## 祖國便り

他全國各地方へも同様有線中継にて放送される筈である。

## 南洋市場を獨占する日本製マツチ

商工省の調査による一九二四年

新農民組合  
十月大會を

直經十二間の  
大せん風

S.Masaki  
Compre Café, Igodão, Cereos  
Escriptorio

Em frente a Estação Promissão  
Caixa Postal, 16

Nordeste

問崎三三一  
珈琲棉花

間崎三三一  
雜穀仲買

金物類

新流行反物、内外化粧品、日本小間物類、

文房具類、食料品、種子物、書籍、

アルマゼン  
穀物仲買

開業七ヶ年擴張  
ヤナギ兄弟商店

一・ど御家庭に

お試し下さい



富士山醤油合資組合  
藤澤豊治郎  
西本商店

北西線アロミツソン驛町郵函十八

新橋の山火事

前兆ではないかと怯えて居る。

Casa Nishimoto  
Armazem  
貿仲殼雜

薄利多賣と親切と  
御便利とは本店のモットオであります

ノロエヌテ線リソス市  
郵函一七九

アラサツバ驛郵函二〇八

アグワリンバ

前田吉太郎

ノロエヌテ線リソス市  
郵函一七九

アラサツバ驛郵函二〇八

アグワリンバ

日四月六年五十正大

## 棉の捨值に

## 不景氣のどん底

五百ミル紙幣や一コント紙幣が、  
ザク／＼棉作者の懷に喰つて、景  
氣のいいと、農家樂天國の觀がある  
あるも、昨年から今年へかけての  
如く、棉の値が捨値の相場を現は  
したが最後、ニチモサチも行かぬ  
破滅生活だ、アローバ二東三文に  
賣つた處で、米一斗買ひるじやな  
し、棉作専門の農家の悲哀は、カ  
フェ／＼や糸を持つノロエスティ線農  
家の想像以上に慘なものがある。  
七年も十年も棉専門に暮して來  
たソロカバナ邦人老農連が、最後  
の歯喰ひしばりの忍耐もきれて、  
昨今四離没落の群となり、北西方  
面へ流れ込む。

棉花相場下落に伴ふ時代劇の一  
幕である。

## 新殖民者

アリアンサ行の

来邦人中の十二家族は、アリアン  
サ植民地入植者にて去る廿九日バ  
ウル着、三十日朝輪湖支配人に伴  
はれ北西線の汽車に乗つた。同十  
二家族の縣別は左の如し、

山梨 一  
鳥取 一  
千葉 一  
長野 一  
秋田 一  
福島 一  
長野 一

去月末ハワイ丸にて到着した新  
來邦人中の十二家族は、アリアン  
サ植民地入植者にて去る廿九日バ  
ウル着、三十日朝輪湖支配人に伴  
はれ北西線の汽車に乗つた。同十  
二家族の縣別は左の如し、

市價を無視した他に眞似の出来  
ない大特價を以て提供致します  
何卒御下命の程願上ます

## 必需食料品値段表

白米	最上品	一俵	47\$000
全	上等品	一俵	40\$
全	上等品	一俵	43\$
茶マーテ	一包	1\$1	
バカリヤオ	最上品	一キロ	3\$
カルネセツカ(リオグランデ製)	一キロ	3\$	
石砂油	一箱	37\$	
全	塩	1キロ入	
全	塩	2	
全	塩	4	
全	塩	10	
全	塩	30	
全	塩	60	
全	洗濯石鹼	2キロ入	
全	洗濯石鹼	3キロ入	
全	洗濯石鹼	4キロ	
全	洗濯石鹼	27片入	
全	洗濯石鹼	5キロ	
全	洗濯石鹼	10包	

(五月十八日附相場)  
洋酒、金物、小間物等の値段は追々御披露致します。

◎日本品は何品にても取扱へて有ります。

## 瀬木商店

パウル支店  
RUA BAPTISTA 1-38

Baurú

Dr. Jeyme Halfeld

民事	商事	刑事
辯護士	ジャイム	其他
アルフエルド	バウル市アベニード	電話二六番

## 青年會の發展

△バウル驛▽

豹虎狼

毒蛇

## 人出の少い

六百八頭

五月号の「市民」が出た。印刷  
象にやられたもの

五百九人

